施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 文化課

施策名	18 文化・芸術・歴史
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・市民のだれもが芸術文化に親しんでいます。 ・市民共有の財産である歴史や文化財について、市民がその重要性を認識し、適切な保存、活用がされています。

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
過去１年間に芸術文化を鑑賞した人の割合	%	33.6	80.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	39.30	36.60	37.1		

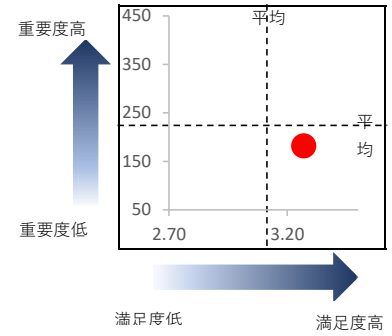
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
182

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		令和7年度
91.5	→	93.1

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

本事業は心豊かなまちづくりやひとづくりに欠かすことのできない施策です。市民の誰もが芸術文化を身近に感じ、親しめるよう、活動者の支援体制を整備するとともに、類似する事業の統廃合や運営体制の見直しなどを通じて、時代や地域の変化に応じた事業の再構築を進めます。あわせて、第2次文化振興計画を策定し、地域の実情や多様なニーズを踏まえた事業へ再編します。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：子ども文化事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
2,938	木の造形作品コンクール	廃止	完了	長年にわたり全国規模のコンクールを開催し、子どもたちの創造力と豊かな心を育んできましたが、今後は本市の子どもたちを対象とした新たな創作・鑑賞体験事業へと再編し、郷土愛と創造力の育成を図ります。	
	俳句コンクール	廃止	完了		

事務事業②：文化振興事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
4,546	名月と萩のタベ	廃止	完了	各細事業の統廃合を図りつつ、文化によるまちづくりを担う美術展や文化祭のより一層の充実を目指します。若い世代の出品や参加を促進するためのPRも進めます。	
	俳句入門講座	廃止	完了		

事務事業③：文化人材支援事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
2,354	菊友会補助	廃止	完了	芸術文化活動を生涯にわたり継続していくためには、受け皿となる団体が必要です。文化協会を核とした各団体や芸術家の創作活動を継続的に支援し、その発展を支えます。	

事務事業④：市民の劇場事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
30,547	市民の劇場【各地域】	↘	→	公演やアウトリーチを通じて、市民に質の高い芸術を鑑賞・体験できる機会を提供するとともに、公演事業については指定管理者への移行に向けた協議を進めます。地域の公演事業については、より地域住民に特化した事業へ見直します。	